

平成26年2月20日

報道関係各位

一般社団法人 電子情報技術産業協会

ノート型パーソナルコンピュータにおける 「JEITA バッテリ動作時間測定法」の改訂について

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA:会長 佐々木則夫/株式会社東芝 取締役副会長)では、パーソナルコンピュータ事業委員会において、ノート型パーソナルコンピュータのバッテリー動作時間測定方法の改訂について検討を行ってきましたが、この度、「JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver. 2.0)」を取りまとめました。

平成 13 年に当協会が取りまとめた「JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver. 1.0)」は、多くのパソコンメーカーが採用し、ユーザがノート型パソコンを購入する際の動作時間比較の目安として一定の役割を果たしてきました。

しかしながら、近年、技術の進歩により CPU や画像処理性能が向上し、また使用環境の変化により、無線通信機能が一般的に使われるなど、機器の動作状態が変化してきています。

そこで、策定から13年経過した Ver. 1.0 の測定法について、技術の進歩や環境の変化を踏まえて測定条件等を改訂することとなりました。

主な変更点は、画面輝度 150cd/m^2 以上、無線 LAN 機能 ON、再生映像(H.264/AVC、フルハイビジョン、フルスクリーン表示)となります。その他の変更点は比較表をご参照ください。

本日現在「JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver. 2.0)」の採用を予定しているパソコンメーカーは、次のとおりです。本測定法による動作時間は、本年4月1日以降新たに発売される各社の新製品カタログ等に、順次記載される予定です(1年程度は Ver. 2.0 と Ver.1.0 の値が併記される場合があります)。

(順不同)

ASUS JAPAN 株式会社

NEC パーソナルコンピュータ株式会社

エプソンダイレクト株式会社

株式会社東芝

日本ヒューレット・パッカード株式会社

パナソニック株式会社

富士通株式会社

株式会社マウスコンピューター

株式会社ユニットコム

表 JEITA バッテリ動作時間測定法 Ver. 2.0 と Ver. 1.0 の比較

項目	Ver. 2.0	Ver. 1.0
画面輝度	150cd/m ² 以上 (R,G,B 最大値時)	測定法 a) 20 cd/m ² 測定法 b) 最低輝度
無線 LAN	アクセスポイントに 接続した状態	—
その他の 無線機能	オフでも可	—
動画再生ソフト	インストールされたもの	—
再生画面の 表示サイズ	フルスクリーン	320×240ピクセル
測定の終了	シャットダウンまたは休止状態 (ユーザが設定可能であればバッテリー 切れによる強制終了でも可)	バッテリー切れによる 強制終了でも可
バッテリーの 充電方法	—	本体にて充電
動画ファイルの 格納場所	—	ハードディスク
動画ファイルの コーデック	H.264/AVC	MPEG1

- 本測定法の詳細については、JEITA ホームページを参照ください(平成 26 年 2 月 21 日以降)。
<http://home.jeita.or.jp/cgi-bin/page/detail.cgi?n=84&ca=14>

【本件に関するお問合せ先】

一般社団法人 電子情報技術産業協会

コンシューマ・プロダクツ部 TEL: 03-5218-1058

広報室 TEL: 03-5218-1053

e-mail: comm1053@jeita.or.jp

以上